

令和元年(2019年)11月 花き部 主要品目の市況

	種類	品名	市況の概要	2019年11月 数量	2019年11月 平均単価 (円)	前年同月比 数量	前年同月比 平均単価
1	切花	キク	愛知県・長崎県が主要産地です。作柄が悪く、入荷量はやや減少しました。平均単価は高く推移しました。	876,470	62	95%	112%
2		小菊	沖縄県が主要産地です。作柄が大変良く、入荷量はかなり増加しました。平均単価はかなり高く推移しました。	129,925	37	129%	138%
3		バラ	愛知県・岡山県が主要産地です。作柄が良く、入荷量は前年並みで推移しました。平均単価はやや高く推移しました。	148,582	100	101%	108%
4		カーネーション	千葉県と諸外国が主要産地です。作柄が良く、入荷量は増加しました。平均単価は高く推移しました。	494,117	46	109%	114%
5		鉄砲ゆり	千葉県、鹿児島県が主要産地です。作柄が大変よく、入荷量は大幅に増加しました。平均単価は、かなり安く推移しました。	5,240	101	153%	75%
6	鉢物	シクラメン	千葉県、神奈川県が主要産地です。作柄が良く、入荷量は前年並みで推移しました。平均単価は安く推移しました。	41,604	305	100%	88%
7							
8							

【増減基準】

- ①並み、横ばい:(+-)0~2%
- ②やや増加(減少):(+-)3~10%
- ③増加(減少):(+-)11~20%
- ④かなり増加(減少):(+-)21~50%
- ⑤大幅に増加(減少):(+-)51%以上